

報告事項ク

美術部門夏休み企画 シリーズ：美術をめぐる場をつくるⅠ「アートとの遭遇」の開催について

美術部門夏休み企画 シリーズ：美術をめぐる場をつくるⅠ「アートとの遭遇」の開催について、別紙のとおり報告します。

令和元年 7 月 1 7 日

鳥取県教育委員会教育長 山 本 仁 志

美術部門夏休み企画 シリーズ：美術をめぐる場をつくるⅠ「アートとの遭遇」 の開催について

令和元年7月17日
博 物 館

美術部門夏休み企画 シリーズ：美術をめぐる場をつくるⅠ「アートとの遭遇」を下記のとおり開催します。

1 趣 旨：

鳥取県立博物館では、夏休み企画として当館美術部門のコレクション等を中心とした展覧会を開催してきました。本年度は、表現や鑑賞を体験的に味わい、アートをより身近に感じることを目的に、「アートとの遭遇」と題して開催します。会場には、鑑賞をきっかけに来館者自身が作家と同じテーマで表現できる制作ブース、滞在制作を行う大学生の制作プロセスを鑑賞できるブース、デジタル鑑賞コンテンツを活用した鑑賞ブース等を設置します。さらに、アートを「誰もが主体的に取り組むことのできる創造的な行為」として広く捉え、県民が講師となってワークショップを開催出来る申込み制のブースを設けるなどしてアートを通じたコミュニケーションが生まれる場を提供します。

2 会 期：令和元年7月20日（土）～8月25日（日） 会期中無休
開館時間：午前9時～午後5時（土曜日は午後7時まで）

3 会 場：鳥取県立博物館 第3特別展示室

4 入場料金：常設展示の入館料 一般180円(団体150円)
次の方々は無料です：◎大学生以下 ◎70歳以上 ◎学校教育活動での引率者
◎障がいのある方・難病患者の方・要介護者等およびその介護者

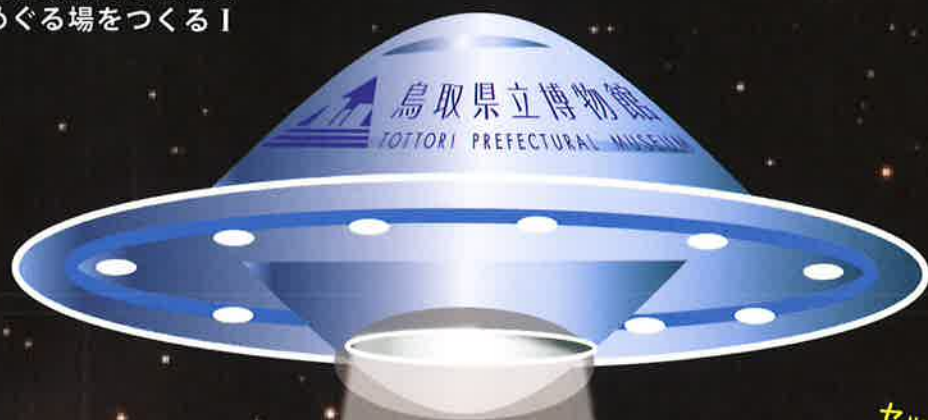
5 主 催：鳥取県立博物館

6 展示内容：○前田寛治《自画像》1930年、1928年頃
辻晋堂《遠くを見ている自画像》1971年、《ワシ》1974年
○野崎信次郎《白い対話 M》1969年、《白い対話 W》1969年
○沖探容《四季富士図》
○武蔵野美術大学 学生作品 他

7 関連事業：

- スペシャルワークショップⅠ 北斗座舞踏—新しき年の始の舞—失われた肉体と祖国を求めて
講 師：北斗座 舞踏家 大竹宥熙、大竹広野、村田円佳
内 容：大竹さんの舞踏を鑑賞し、武蔵野美術大学生が身体の動きを捉えて描く様子を見る。希望者は学生とともに描くことも可能（その場合は各自画材持参）
日 時：令和元年7月20日（土）午後2時～午後3時30分
- スペシャルワークショップⅡ キミはアートの目撃者—作品を見ながら話してみよう！
講 師：武蔵野美術大学「旅するムサビ」参加学生
内 容：学生の作品を用いた対話型鑑賞
日 時：令和元年7月27日（土）午前10時～、午後2時～、各60分程度

令和元年度 鳥取県立博物館 美術部門 夏休み企画
シリーズ：美術をめぐる場をつくるI



コノナツアサタハ イロンナアートト セツキンソウゲウスルノダ。

アートとの遭遇

2019/7/20/SAT - 8/25/SUN

開館時間：午前9時～午後5時(入館は閉館の30分前まで)

※土 日は午後7時まで開館、会期中無休

会場：鳥取県立博物館 2階 第3特別展示室

観覧料：一般=180円/20名様以上の団体=150円

次の方々は無料です。

◎大学生以下 ◎学校教育活動での引率者 ◎障がいのある方・難病患者の方・要介護者等及びその介護者 ◎70歳以上の方

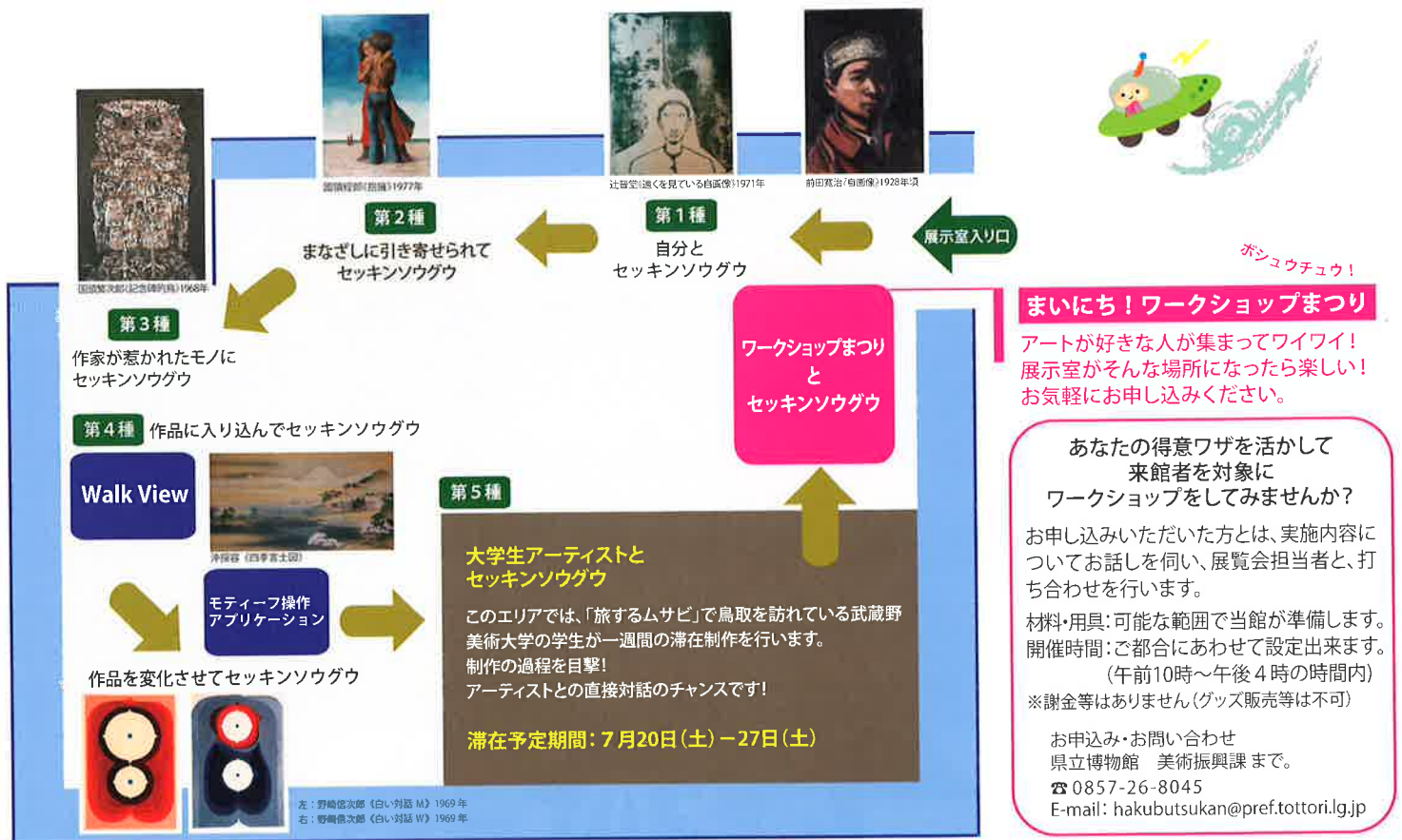
セッキンソウグウ

「アートとの遭遇」は、いろいろなアートと出会い「接近遭遇」して体験的に鑑賞する展覧会です。

接近遭遇とは、もともとは未確認飛行物体（UFO）とその関係のものとの接触をあらわすことばで、その距離や状態に応じて第1種から第9種まで分類されています。例えば、第1種接近遭遇は、150メートルくらいの距離で未確認飛行物体を確認すること。第2種接近遭遇は、未確認飛行物体が、熱など周囲に何かしらの影響を与えて痕跡を残すこと。第5種接近遭遇になると、直接対話・通信などを行うレベルに達するそうです。

アートも、私たちにとって未知の可能性を秘めた、なかなか全容を確認できない、未確認飛行物体のような存在だといえるのではないのでしょうか。出会うことによって、ドキドキしたりワクワクしたり、不思議だったり少し怖かったり。いろいろな感情が生まれます。

そこで、今年の夏の展覧会会場では未確認飛行物体の遭遇になぞらえた複数のブースを作りました。「第1種セッキンソウグウ」コーナーで遭遇するのは自画像です。多くのアーティストが取り組むテーマですが、自らにセッキンソウグウする気持ちはどのようなものなのでしょうか？第2種のコーナーでは、鑑賞している自分を見つめ返すまなざしにセッキンソウグウしてみましょう。第3種、第4種のコーナーでは、デジタル鑑賞コンテンツを使って作品の中に入り込んだり、作品の色や形を変化させたりすることが出来ます。第5種のコーナーは、武蔵野美術大学の学生たちのアトリエです。会期初日から一週間ほど滞在制作をしています。鳥取のまちや自然を取材して帰ってきた学生アーティストと出会えたら、直接対話のチャンスです。今回初の試みとして、自分の趣味や特技を活かしてワークショップを開催できるワークショップまつりコーナーも作りました。参加者を迎える側、セッキンソウグウされる側になってみるのも楽しいかも知れません。この夏、展示室でアートとの遭遇を楽しんでみませんか？



2週連続で開催！
スペシャルワークショップ

7/20 SAT 北斗座舞踏—新しき年の始の舞—失われた肉体と祖国を求めて



舞踏家集団 北斗座が展示室を舞台にパフォーマンスを行います。舞踏というアートにセッキンソウグウしてみましょう！

滞在制作中の武蔵野美術大学生が展示室でその動きを捉えて描きます。舞踏の鑑賞に集中する、動く体を美大生が捉える様子を見る、画材を持参して動きを見ながら描いてみるなど、参加の方法は自由です。

舞踏家：大竹宥照（おおたけ・ゆうぎ）、広野（ひろの）、万琵琶（ばんび）
時間：午後2時～午後3時
会場：2階 第3特別展示室
申込み：不要 *観覧料(180円)が必要です。企画展チケットで入場可。

7/27 SAT キミはアートの目撃者—作品を見ながら話してみよう！

「旅するムサビ in 鳥取」で滞在制作中の学生に第5種セッキンソウグウ！

学生が描いた作品や、目の前で描いている作品を見ながら、作家と話してみませんか？鳥取が好きで何度も訪れている学生もいます。私たちにとっては慣れた鳥取の風景を、学生たちはどんなふうと感じ、切り取るのでしょうか。

講師：武蔵野美術大学生
時間：午前10時～、午後2時～、各60分程度
会場：2階 第3特別展示室
申込み：不要 *観覧料(180円)が必要です。企画展チケットで入場可。



交通のご案内
◎JR鳥取駅から
▶バスで①100円バス「くる梨(緑コース)」で「①仁風閣・県立博物館」下車すぐ
②ループ麒麟獅子「③鳥取城跡」下車すぐ◎砂丘、湖山、賀露方面行「西町」下車約400m
④市内回り岩倉、中河原方面行「わらべ館前」下車約600m
▶タクシーで約10分
◎鳥取空港から 鳥取飛行空港連絡バスで「西町」下車約400m
◎お車で 鳥取自動車道・鳥取ICより約15分
※当館駐車場21台駐車可能 (なるべく公共交通機関をご利用ください)



鳥取県立博物館
TOTTORI PREFECTURAL MUSEUM

〒680-0011 鳥取市東町2丁目124
お問い合わせ ☎ 0857-26-8045 (美術振興課)